

新型コロナウイルス感染拡大に伴う Web 講習会における日医生涯教育講座の単位・CC の付与について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、日本医師会より、インターネット回線を用い、受講者が各々の端末（PC、タブレットなど）を用いて講習会等に参加する形式（これに類するものを含む。以下、「Web 講習会」）での講習会においても、受講者の参加が確認できる場合に限り（リアルタイムで参加する方法のみ）、単位・CC の付与が可能との通知がありました。

本取り扱いの期間については、現在～令和3年4月1日以降で当面の間に開催する研修会がWeb講習会として取り扱いの対象となります。

受講者の参加確認について、令和3年3月31日までは、ID およびパスワードで照合する、もしくは、顔の見える関係が前提で、先生の顔や声で参加を確認する等の方法で受講者確認が可能となっております。

令和3年4月1日以降につきましては、各受講者のログイン・ログアウト（出退）の記録（ログ）のみ認めると日本医師会より定められております。また、より強固な受講者確認として、ログと申込リスト等との照合を推奨しております。

なお、Web 講習会の共催申請および日医生涯教育講座の申請（単位申請）につきましては、備考欄に具体的に「開催方式」「どのようなシステム」を用いて、「どのような方法」で参加を確認するかどうか記載をお願いいたします。（記載がない場合は申請を受け付けることができません。）

上記記載の上、申請いただきましたら、本会担当部会・理事会等にて、その方法が適切であるかどうか確認し、審議いたします。

※要件の補足等を2ページ目にお示しいたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

Q 1 講習会を録画し、WEB サイト等で配信（オンデマンド配信）することで単位・CCを付与できるのか。

A 1 録画した映像をオンデマンド配信する場合は、従来どおり、日医生涯教育制度の対象とはしない。

あくまでも、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う臨時的な措置として、講習会等（LIVE）をインターネット回線を使用したシステムに置き換えたものであるため。

※事前に録画（収録）した映像をリアルタイムで配信し、講習会形式でWeb講習会を開催する場合は単位・CCの付与が可能。

Q 2 Web講習会開催の際に留意することはあるか。

A 3 Web講習会開催にあたっては、主催者の責任により、受講者の不利益にならないよう、回線の状況等について十分な準備（受講者への周知、テストやリハーサル）を行う必要がある。

Q 3 申込リストと研修会のログを照らし合わせて受講を確認する場合、同一のPC等（通信端末）で複数名の参加は認められるか。

A 3 正確な受講者管理の観点から、一人一台のPC等（通信端末）で参加いただく必要がある。

Q 4 令和3年4月1日以降、受講者の顔や声等での受講者確認方法は認められるか。

A 4 日本医師会より、各受講者のログイン・ログアウト（出退）の記録（ログ）を用いての受講者確認方法以外は認めないとの通知があった。

また、より強固な受講者確認として、ログと申込リスト等との照合を推奨。

<令和3年4月1日以降の追加要件>

1. 主催者は、Web講習会開催にあたって、各受講者のログイン・ログアウト（出退）の記録を保存すること。
2. Web講習会終了に際しては、受講者がログアウト（退出）する時間を確保するため、主催者はWeb講習会終了後30分間、通信を切断することなく、通信状態を維持すること。
3. 主催者は、Web講習会開催にあたり、ログイン・ログアウト（出退）の記録を保存すること、および、Web講習会終了後30分を経過すると受講者によるログアウト（退出）情報が記録されないため、Web講習会終了後30分以内に、確実にログアウトするよう受講者に対し周知徹底すること。